

「一人一品」一人ひとりの大事にしている 想いを引き出す場をつくります。

(岡山県総社市)

特定非営利活動法人 吉備野工房ちみち理事長 **加藤 せい子**



プロフィール
広島県生まれ。2008年NPO法人吉備野工房ちみちを設立、理事長となる。平成23年度内閣府女性のチャレンジ賞特別部門賞を受賞。2013年度から総務省地域力創造アドバイザー、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所地域活性ラボ研究員。

Q NPO設立のきっかけについて教えてください。

加藤：1997年に神戸連続児童殺傷事件が起こり、子どもが子どもを殺すという残酷な事件が自分の胸に強烈に突き刺さりました。今の世の中はこれでいいのか、大人の生き方はこれでいいのかと自問自答し、何か自分にできないかと思って、地域のPTAの女性たちとコンサートを開催したのがはじまりです。ちょうど私の子どもが吹奏楽を親しんでいたこともあり、年齢や性別、国籍を超えて楽しめる音楽を通じて、地域と人が連携する素晴らしさを伝えようと企画しました。

このイベントが成功したことで、行政の企画委員会などに呼ばれるようになったのですが、委員会に出席して実感したのは、まちをつくる意思決定の中に暮らしの視点が欠けていることでした。さらに、会議の出席者の9割が男性で、女性が非常に少ないことも疑問に感じました。そういった状況を改善したいと思ったのが、NPO設立の大きなきっかけの一つです。

また、これまで地域でさまざまな企画が行われてきましたが、いつもイベントが終わると活動が途絶えてしまっていました。主催する行政に対して住民側が受け身の姿勢だったということもあり、活動や関係をつなぐ役が必要だと思ったことも、きっかけになりました。

Q 実際に設立されて、どのような活動を展開されたのでしょうか。

加藤：NPOの役割は、いわばハブの機能と捉えています。自分たちが主体なのではなく、何かをやりたいと思っている人や地域資源をつなぎ、ネットワークをつくることです。こ

れは概念的な考えで表現することが難しかったため、まず「みちくさ小道」という体験プログラムを作って、実践しました。

「みちくさ小道」のコンセプトは「一人一品」。どんな人にも、その人だけが持つ知恵や技、好きなことがあると思います。「品」と呼んでいる、その各人の価値に気づいてもらったり、発掘してもらうことが主な考えです。

Q 具体的にはどのような内容ですか。

加藤：人がもつ「品」を生かし、吉備道八十八箇所巡りや眠り方セミナー、男のこだわり料理など多彩なプログラムを組み、その「品」を持つ人、つまり“達人”と一緒に楽しみます。私たちがやっているのは自分が好きなことを生かしてもらう場の提供で、達人には、参加者も一緒に楽しめるような場を作ることをお願いしています。これまでに10回開催し、人材育成の面でも注目されて、「みちくさ小道」のノウハウは総社から全県へ、岡山県から全国へ、日本から国外へと広がっていきました。

「みちくさ小道」では、地域に住む人が愛着を持って地域に関われるように、すべての人に出番が用意されています。そしてその一人ひとりの良さを引き出し、見える形にして伝

る事業として展開しています。地域づくり事業として、これからも継続していきたいと考えています。

Q 「みちくさ小道」によって、地域の方々の変化はありましたか。

加藤：第1回目は、参加者のほとんどが地元の総社からでしたが、「地域にこういうものがあることを知らなかった」といった声も多くありました。地域資源の気づきにつながったようです。また、一緒に体験する喜びを感じた参加者が、今度は“達人”の側になるといった変化も起こりました。

人は、場があることで自ずと経験が増え、視野が広がっていきます。その結果、支援を受ける側だった人が今度は支援する側になるということも可能になります。例えば、子育て支援を受けていた若い人が、場を経験することで人のつながりや生き方のヒントを得て、自分に何ができるかを考えるようになり、子育て支援プロジェクトを立ち上げるということも実際にありました。

Q 今後はどのような活動を展開したいですか。

加藤：これからも同じことをこつこつと積み重ねていきたいです。そのことが何かを生み出す力になると思います。

最近、大切にしているのは「啐啄同時（そったくどうじ）」という言葉です。卵の中のヒナが殻を破って外に出ようとするときに内側からコツコツとつつき、同時に親鳥が外から殻をつついて、ヒナが誕生するタイミングを指す言葉ですが、地域づくりにおいても、両方からつつき合うことが大事だと思います。支援する、支援されるの関係ではなく、お互いができることを実践すること。活動を通じて、それが少しずつでき始めていると実感しています。

インタビュー・構成：
城市奈那（株式会社ジェイクリエイト）